

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 加藤伸次
月一回発行 1部 50円

外来での マスク着用ルールを 変更しています

これまで当院では、院内でのマスク着用をお願いしてまいりましたが、感染状況が落ち着いていることを踏まえ、

2026年6月より、

外来部門におけるマスク着用は

「個人の判断」に委ねることといたしました。



船橋二和病院公式キャラクター
『ふたワン』

ただし以下の場合には、
引き続き**マスクの着用**をお願いいたします。



咳やのどの呼吸器症状がある方



発熱などの感染症状がある方



面会に来られた方
(入院病棟ではマスク着用)



状況により、職員から
マスク着用をお願いする場合があります。

これまで感染対策にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
船橋二和病院・ふたわ診療所・二和ふれあいクリニック



被爆体験を聴く参加者

二和地域では、7月17日健康管理センター3階会議室にて学習講演がありました。講師は3歳半の時長崎で被爆された柏市在住の小野さん。体験者ならではの生々しい話は心に響くものがありました。

突然の土砂降りの雨に遭い、続けることを断念し引き返しました。戻ったあと、原水爆禁止世界大会に参加する研修医の壮行会を行いました。天候には恵まれませんでした。平和について考え行動する良い機会となりました。

参加者から「小野さんの『遺言』として話されたことを忘れることなく、自分でできることを探していきたい」などの感想が寄せられました。

世界各地で戦争が起こり、日本が平和と外交よりも「武力」とばかりに異常な軍事拡大にひた走る状況の中、平和と核兵器廃絶を願って今年も全国で「国民平和大行進」が取り組まれました。

二和地域では、7月17日健康管理センター3階会議室にて学習講演がありました。講師は3歳半の時長崎で被爆された柏市在住の小野さん。体験者ならではの生々しい話は心に響くものがありました。



被爆体験を語る
小野さん

あり、「私の遺言だと思って聞いてください」と参加者に語りかけられました。学習のあと、心配した雨も止んだので行進を始めましたが、途中二和向台商店街辺りです。



商店街を行進してアピール

**戦争をしないことが何より大切！
だから今年も平和を願って歩きました**

友の会 サークル紹介 民謡愛好会



楽しく唄うのがモットー

コロナ禍の中断は
かなり痛手に

私たち民謡愛好会は、コロナ時代に活動中止を余儀なくされ、その後様々なサークルが動き出した頃、民謡は大きな

な声を出すということもあり、一番遅い再開となりました。連絡し合ってぼちぼち集まり出しましたが、高齢者にとってコロナ禍の4～5年は影響が大きく、からだをこわした人もいます。

モットーは「楽しく仲よく！」

毎月1回は会っておしゃべりしたり、民謡を唄ったりしようと話しあうもなかなか場所がなく、3か月ほどカラオケルームで開催し、二和公民館にたどり着きました。

私たちのモットーは、大きな声で民謡を唄い、健康におしゃべりして「楽しく仲よく！」ということです。よろしかったら、自由で楽しくゆるい会ですので、一度見学に来てみませんか？いつでもお待ちしております。

友の会行事などで唄うのも恒例に



場所：船橋二和公民館
開催日：月2回開催
(月1回になるときもあります)
参加費：会場代を会員で分担しています
連絡先：田代照代 090-5344-6449



水分補給の
タイミングは
よく「喉が渇く前に水分補給を」と呼びかけられています。人間の脳が「喉が渇いた」と認識した時点で



水分や、適度な塩分補給をすることが大切です。

まだまだ暑い！
熱中症は9月も
油断できない
熱中症による救急搬送人員は、昨年5月から9月の全国累計で10万人を超え、調査開始後18年間で過去最高に。また、昨年は厳しい暑さが長期間続き、6月が過去最多、9月が過去2番目(1番目は24年)の救急搬送人員でした。



では、すでに体からペットボトル一本分近い水分が失われています。つまり、自覚症状が出てから飲むのでは、すでに遅い状態なのです。そこでおすすめなのが、朝食時、三時のおやつ、入浴前後など、自分の感覚に頼らず、生活リズムに合わせて定期的にコップ一杯の水分や、適度な塩分補給をすることが大切です。



ささのものを選べ、一日一回は温かい味噌汁などを飲んでお腹を内側から温めてあげましょう。

熱中症対策



こまめな水分補給を

**胃腸をいたわる
正しい水分補給を！**

冷たいものの
大量摂取は要注意

ただし、暑いからといって、キンキンに冷えたビールやジュース、アイスなど冷たいものを急に大量摂取すると、お腹の中だけが真冬のように冷え切ってしまうので、胃腸がびっくりして動きをサボってしまうので消化する力が落ち、夏バテのような状態に陥りやすくなりますので要注意です。

すこやか薬局・薬剤師

宮原 香苗



会場全景

「7・4 平和学習会」に62人！ 憲法9条を守り、 戦争への道をやめさせよう！！

7月4日(土)、船橋市勤労市民センターにて船橋原水協主催の平和学習会が開催され、62人の方が参加されました。

内容は、「戦争する国づくりはどこまでできているのか」と題した小泉親司さんの講演と、かなみつ理恵市の講演による船橋での具体化の現れの報告で、憲法9条を守り戦争への道を止めようと確認し合いました。

【講演の要点】
イラン戦争で示された憲法9条の力

トランプ政権の突然のイラン攻撃に対し、ヨーロッパ諸国がこぞって国連憲章と国際法違反と批判し協力を拒否する中、高市首相は「法的評価を控える」とし、米軍基地からの出撃を容認。しかし、憲法9条があったため自衛隊派遣は断念せざるを得なかった。



講演する
小泉さん

「台湾有事は日本の有事」は本当？

高市首相は、政府の公式の立場から逸脱し、突然「台湾有事は日本の有事」と発言、武力行使もあり得るとした。しかし、危険な発言であり、実際に行動を起こせば日本が大規模な報復攻撃を受け戦禍にまみれる可能性の方が高い。

平和憲法前文は「おめでたい一文」か？

世界では、ロシア対ウクライナ、イスラエル対パレスチナ、アメリカ対イランなど戦争が絶えない。政府が頼りにしている「核抑止」で戦争が防げていないのが



船橋の現状を語るかなみつさん

現実である。

高市首相は、首相になる前に憲法前文を「おめでたい一文」と発言、憲法9条改憲に執念を燃やしている。しかし、日本国憲法(前文や9条)こそ平和な日本を守る力となってきたことは歴史が証明している。

何のために生きているのかなんて、最近までは考えていなかったし、聞かれても答えられなかったでしょう。人は人を幸せにするために生きているのかもしれない、今はそんな風にも思えるのです。大切なのは、この気持ちは、道徳、ましてや自己犠牲などとは全く異なるということ。古代ギリシャの時代から言われている「よく生きる」、自分の幸福を何より大切に生きたと、自然にそうなるように感じられませんか。他者を意図的に傷つけたり、悲しませることに對して、以前は怒りを感じたでしょう。でも今は、疑問と悲しみを感ずるのです。そんなことをして、

医師 大井は、2026年4月をもって、約26年間、常勤医として勤務した船橋二和病院を退職となっております。同年5月より、非常勤医として、ふたわ診療所整形外科外来や、船橋二和病院当直業務の一端を、しばらくの間担当する予定です。



整形外科医師
大井康二

これまで出会った多くの方々に、この場を借りて、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございます。

第10回 介護保険崩壊の危機！ それでも生活を支えたい やりがいのある仕事 私の職場は船橋二和病院デイケア(通所リハビリテーション)

船橋二和病院のデイケア(通所リハビリテーション)は、「要介護認定を受けた方が主治医の指示により受けることができるリハビリテーションがメインの通所系サービス」のことです。

1日型のデイケアと異なり1時間以上2時間未満のサービスを提供しているのが特徴です。1日3部制となっており、約180名の方の利用登録があります。1部90分(定員25名)・2部60分(定員15名)・3部90分(定員25名)の完全入れ替え制で、毎日約50～60名の方が元気にマシントレーニングやリハビリに励んでいます。



専門スタッフが協力し合い工夫したサービスを提供

職員は理学療法士3名、介護福祉士5名がシフトで勤務しています。理学療法士は専門的なアドバイスや個別リハビリを実施し、介護福祉士はマシンの設定、見守り、普段の様子や会話の中での変化をキャッチできるよう日々皆様と関わっています。

「安全・安心・楽しく運動する」を実践するために情報共有をし、利用者さまの生活を支える協力体制が整っています。また、短時間の提供時間でありながら、初詣・お花見・シャトレ・ゼ買い物ツアーや敬老週間のゼリー提供、麻雀大会など季節ごとの行事も行なっています。

利用者さまからの声と笑顔を励みにして

利用者さまからは「ここ来ると元気が出る!」「なんでも相談できて安心できる場所だわ。」「こんなことができるようになった!」「電車で出掛けられるようになった!」などの声が聞かれたり、新たな挑戦を相談されたりすると、本当にうれしく、やり甲斐を感じます。利用者さまの笑顔が見られるたび、この仕事が本当に大好きだ!と感じられる職場です。

今後も「まずみる、よりそう、支援する、なんとかする」を念頭に利用者さまの生活を支えていきたいと思っています。

船橋二和病院通所リハビリテーション(デイケア) 乗替万希子



第38回船橋二和病院 健康まつり

10月18日(日) 午前10時～午後1時(予定)

会場 ふたわ診療所施設周辺

※詳細はふれあい10月号折り込みチラシをご覧ください

いつでも元気

2026 9月号 380円 好評発売中

100回聞いても大丈夫	和歌山
みんなの教室	おとなの発達障害
明日を生きる力	龍馬座
暮らしのチカラ	千葉県御宿町
生活保護はいま	
食と健康	防災食

発行：船橋二和病院 発行所：〒113-0034 船橋市立芝山2-4-4 船橋二和病院 センター2階 電話：03(5842)5056(1) FAX：03(5842)5057

なるべく整形外科的な雑談 ②4

Final

人は年齢を重ね、様々なことに思い至るようです。ある御高齢の方の述懐です。

「この頃は、自分の死について考えない日は一日もありません。ですが、人生をエネルギーと考えるようになったので、死をそんなには恐れていないのです。」

「いつの頃からかはっきりしないのですが、多くのことをとてもやりがたいと感じられる自分がいました。朝、目覚めて無事に起き上がったて歩くことができた、トラブルなく、職場に到着できた、など、若い頃にはほとんど意識していなかったようなことが、本当にありがたかったです。そして、それと同時に、雲の浮かんだ青空は実に美しく、鳥のさえずりは驚くほど感動的なのです。生きているうちにこんな境地に到達できて本当に良かった、何て自分は幸せなんだろう、と感じてしまいます。当たり前のことなんてない、自然や人や、その他どれだけのお陰でこうしていられるのだろう、と思いを馳せると、自然に何かの役に立ちたいという気持ちが沸き上がってきます。他者の幸福のために役立てる可能性があったら、それは何と幸せなことだろうと思います。」

さて、私事になりますが、これまで、本当に多くの方たちのお陰で仕事を続けることができました。医師ほど周りの人に助けられて成り立っている仕事はないかもしれない、そう感じている医師は少なくないと思います。力及ばず、良い経過でなかったことも少なくないのですが、心身の状態が良くなって行くのをみられることは、本当にうれしく、ありがたいことでした。

これまで出会った多くの方々に、この場を借りて、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございます。

整形外科医師 大井康二